

選択的評価事項B 地域貢献活動等の状況

<p>評価の視点</p> <p>B-1 高等専門学校の地域貢献活動等に関する目的等に照らして、地域貢献活動が適切に行われ、活動の成果が認められていること。</p>	
<p>観点B-1-① 地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第107条 (設)第21条</p>
<p>【留意点】</p> <p>○ なし。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めているか。</p> <p>■定めている</p> <p>□定めていない</p>	<p>◇定めていることがわかる資料</p> <p>資料 B-1-1-(1)-01 地域連携活動の目的、基本方針がわかる資料</p> <p>出典「福井工業高等専門学校地域連携テクノセンター規則第2条および3条」</p> <p>資料 B-1-1-(1)-02 地域連携活動の目標の設定がわかる資料</p> <p>出典「平成31年度福井高専地域連携アカデミア役員会議事要旨」</p>
<p>観点B-1-② 地域貢献活動等の目的等に照らして、活動が計画的に実施されているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 実施体制について分析することは必須ではない。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第107条 (設)第21条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学校が設定した地域貢献活動等について、具体的な方針を策定しているか。</p> <p>■策定している</p> <p>□策定していない</p>	<p>◇具体的な方針が策定されていることがわかる資料</p> <p>資料 B-1-2-(1)-01 地域連携活動の具体的な方針がわかる資料</p> <p>出典「福井高専 第4期中期計画（地域連携テクノセンター該当分）」</p>
<p>(2) (1)の方針に基づき計画的に実施しているか。</p> <p>■実施している</p> <p>□実施していない</p>	<p>◇実施状況がわかる資料</p> <p>資料 B-1-2-(2)-01 地域連携活動の実施計画がわかる資料</p> <p>出典「地域連携テクノセンター運営委員会資料」</p> <p>資料 B-1-2-(2)-02 地域連携活動の実績がわかる資料（抜粋）</p> <p>出典「地域連携テクノセンター活動紹介誌 JOINT2019 pp.10-17 地域社会との連携事業」</p> <p>https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp/</p>

	<p>content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf 資料 B-1-2-(2)-03 地域連携活動の実績がわかる資料（抜粋） 出典「地域連携テクノセンター活動紹介誌 JOINT2018 pp.10-19 地域社会との連携事業 https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2018/07/JOINT2018.pdf」</p>
<p>観点B-1-③ 地域貢献活動等の実績や活動参加者等の満足度等から判断して、目的に沿った活動の成果が認められるか。</p>	
<p>【留意点】 ○ 目的が複数ある場合は、それぞれの目的ごとに、活動の成果がわかる資料を提示すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ■満たしていると判断する □満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学校が設定した地域貢献活動等の目的等に照らし、成果が認められるか。 ■認められる □認められない</p>	<p>◇活動の成果がわかる資料（活動別参加者数、参加者・利用者アンケート等） 資料 B-1-3-(1)-01 技術相談の実績がわかる資料 出典「総務・地域連携係」 資料 B-1-3-(1)-02 共同研究の実績がわかる資料 出典「地域連携テクノセンター活動紹介誌 JOINT2019 p.23 共同研究の実施状況（最近3年間）」 https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf 資料 B-1-3-(1)-03 公開講座の実績がわかる資料 出典「平成30年度～平成28年度の公開講座受講者アンケート結果（総務・地域連携係）」 資料 B-1-3-(1)-04 出前授業の実績がわかる資料 出典「平成30年度～平成28年度の出前授業アンケート結果（総務・地域連携係）」 資料 B-1-3-(1)-05 兼業による地域貢献の実績がわかる資料 出典「平成30年度および平成31年度前期の度兼業許可報告（人事労務係）」 資料 B-1-3-(1)-06 地域産業界との連携がわかる資料 出典「地域連携テクノセンター活動紹介誌 JOINT2019 p.30 福井高専地域連携アカデミア会員企業（R1.5.1現在）」 https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf 資料 B-1-3-(1)-07 地域貢献活動の成果がわかる資料 出典「福井国体のカウンタダウンボードの設置（広報さばえ（2018年1月）」 https://www9.city.sabae.fukui.jp/docs/943-699-</p>

	<p>634/26.pdf 資料 B-1-3-(1)-08 地域貢献活動の成果がわかる資料 出典「青武台だより No. 211 p. 18 クリーン大作戦」 https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2017/11/seibu211.pdf</p>
<p>観点B-1-④ 地域貢献活動等に関する問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。</p>	
<p>【留意点】 ○ 具体的な改善事例については、活動状況とともに効果や成果について示すこと。 ○ 地域貢献活動等に関する問題点を把握しているものの、現状では改善を要する状況にない場合には、問題が生じた際に対応できる体制の整備状況について資料を提示すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する □満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 観点B-1-③で把握した成果を基に問題点等を把握し、それを改善に結び付けるための体制を整備しているか。</p> <p>■整備している □整備していない</p>	<p>◇改善の体制がわかる資料 資料 B-1-4-(1)-01 問題が生じた際に対応できる体制がわかる資料 出典「地域連携テクノセンター運営委員会規則」</p> <p>◆学校が設定した地域貢献活動等の目的等の項目に対応させた具体的な改善事例があれば、具体的な内容について、資料を基に記述する。</p>
<p>B-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>本校では、地域連携テクノセンターが主体となって、地域住民や地域企業との連携を図る取り組みを行っている。本校と地域企業との連携により、県内企業の発展に寄与する福井高専地域連携アカデミアの会員企業数は、平成30年5月1日現在で63社であったが、2019年度5月1日現在で76社に増加している。また、マグネットコンテストは、ものづくり教育の一環として、レア・アースマグネットの世界的生産拠点である信越化学工業（株）武生工場の協力を得て平成7年度から実施しており、昨年度で24回目の開催となった。毎年、小中学生や高専生・大学生を含め1000件以上のアイデアが寄せられるイベントとなっている。</p> <p>その他の地域貢献に対する取り組みとして、平成30年度に実施された福井しあわせ元気国体のカウントダウンボードの設置（JR 鯖江駅）や高専祭におけるクリーン大作戦（本校学生の通学路を含む近隣地域の清掃活動）などが挙げられる。これらの活動を通して、本校は地域貢献を行っている。</p>	

<p>選択的評価事項B 目的の達成状況の判断</p>
<p>□目的の達成状況が非常に優れている □目的の達成状況が良好である ■目的の達成状況がおおむね良好である □目的の達成状況が不十分である</p>

選択的評価事項B

優れた点
地域連携テクノセンターでは、福井高専地域連携アカデミア会員の企業数増加を目標として掲げている。2015年4月現在、40社であった会員企業が2019年5月1日現在では76社に倍増している。会員企業数の増加により、企業からの技術相談や共同研究の数、共同研究費や寄付金などの外部資金の増加が見込まれるため、優れた点として挙げられる。
改善を要する点
該当なし